

留学生 Week

阿部美恵子（関西学院大学日本語教育センター特別契約准教授）

6月13日～17日の1週間、第5回留学生 Week を開催した。留学生 Week は、学部留学生・交換学生に対して発表の場を提供し、留学生間及び一般学生との交流を図り、それによって本学学生の国際性の向上に資する目的で、毎年6月に実施している。日本語の授業関連のイベントは日本語教育センターが、文化関連のイベントは国際教育・協力センターが企画して行っている。また、留学生 Week 期間を含む1か月間、生協食堂で「各国ランチフェア」を大学生協の後援のもと開催している。

2011年度は日本語の授業関連のイベントとして、①Homeland Pride トークショー in English、②Homeland Pride トークショー in Japanese、③留学生によるスピーチ発表会、④展示を行った。本学の学生・教職員の参加は自由で、③と各国ランチフェアのみ一般にも開放している。なお④の展示の一部は、交換学生の終了パーティーでもホストファミリー向けに展示した。

留学生WEEK タイムスケジュール

	6/13 (月)	6/14 (火)	6/15 (水)	6/16 (木)	6/17 (金)
1 限		○アメリカ映画上映	○日本映画上映	○韓国ドラマ上映	◆留学生によるスピーチ発表
2 限		グローバルラウンジ	グローバルラウンジ	グローバルラウンジ	B-302
昼休み	関学生協共催：各国ランチフェア（6/13～7/8）BIG PAPA				
3 限	◎世界の楽器 演奏会 グローバルラウンジ	◆Homeland Pride トークショー in English グローバルラウンジ	◎茶道体験 茶道部 グローバルラウンジ	◎韓国チヂミパーティ グローバルラウンジ	◎中国水餃子パーティ グローバルラウンジ
4 限	○台湾映画上映 グローバルラウンジ	◆日本語教員になりたい人のための相談会 グローバルラウンジ	◆Homeland Pride トークショー in Japanese グローバルラウンジ	◎ノルウェー料理体験 グローバルラウンジ	○中国映画上映 グローバルラウンジ
5 限			◎Coffee Hour : 関学会館 レセプションホール		
18:30～	同時開催：日本語を教えたい人のための入門セミナー（受講許可者のみ）				
期間中展示	◆「交換学生、西宮上ヶ原・西宮聖和・三田の学部留学生」による展示 グローバルラウンジ				

◆：日本語教育センター企画 ◎○：国際教育・協力センター企画

①Homeland Pride トークショー in English

このトークショーは、留学生が英語で日本人学生や他国出身の留学生に自分の国の自慢をスライドで紹介するものである。発表する留学生は英語のネイティブスピーカーとは限らない。今回はタイ・インドネシア・フランス・イギリス・アメリカの協定校からの9名の交換学生が発表者として参加した。英語のネイティブスピーカーの英語教員と

交換留学のコーディネータースタッフに司会として、英語クラスを履修している日本人学生にコメンテーターとして参加を依頼した。

英語で行うトークショーであるため、いわゆる日本語の授業としての直接的関わりはないが、自国文化の自慢をする上では、日本文化と自国文化の比較が必要であるという観点から、日本文化クラスの授業の一環として参加する形をとっている。なお、日本語の授業で作成したお国自慢の掲示（後述）を元に発表することで、発表学生の準備の負担を軽減する工夫もしている。英語を勉強したい、英語で留学生とコミュニケーションをとりたいという日本人学生が多い。そういった日本人学生との交流の機会を持つ目的でも実施しており、言語教育研究センター開講の英語の授業と連携をとり、司会の英語教員とコメンテーター、聴衆の日本人学生には英語の授業の一環として本トークショーに参加してもらっている。

昨年度までは、発表とその後のディスカッションのみでトークショーを終えていたが、初の試みとして、トークショーを早めに切り上げ、聴衆とのフリートークの時間を設けた。ディスカッション時にはコメンテーター以外の聴衆からも質疑を受け付けていたが、全体では英語で質疑する自信のない日本人学生もいた。しかし、フリートークであれば、英語で話しかけることができたという学生が多く見られ、フリートークの時間を設けたことは、留学生と日本人学生との交流の機会を持つという目的の達成に効果があったと言える。

②Homeland Pride トークショー in Japanese

このトークショーは、留学生が日本語で日本人学生や他国出身の留学生に自分の国の自慢をスライドで紹介するものである。今回は 8 名の学部留学生（1 回生）、1 名の交換学生が発表者として、2 名の日本人学生がコメンテーターとして参加した。司会は日本語の教員と大学院留学生に協力を依頼した。

日本語でのトークショーではあるが、異文化との交流ということで、言語教育研究センターの英語の授業の協力を得て、日本人学生に聴衆として参加してもらった。

聴衆として参加した学部留学生の感想からは、「関学にこのようにたくさんの留学生がいるとは知らなかった」といった他の留学生との触れ合いができたことへの喜びや、「発表者の誇れるものは物だけではなく人も誇りだということばに感銘を受けた」という発表内容から学んだことが多かったこともわかった。

③留学生によるスピーチ発表会

12 名の交換学生、12 名の学部留学生が「日本」に関するテーマでスピーチを行った。発表者の日本語能力は初級から超絶レベル、来日歴も 3 か月未満から 3 年以上とさまざまであった。このスピーチ発表会は日本語力を競うことや、スピーチ大会らしいパフォーマンスをすることは目的としていない。そのため、スピーチ大会という位置づけではなく発表会とし、かつ表彰も行っていない。

交換学生と学部留学生と一緒にスピーチを行うことで、聴衆の交換学生たちは学部留学生のように日本語が上手になりたいと目標を強く意識するようになった。一方で、学部留学生からは交換学生のテーマ選択や聞き手への訴えかけ方から、聞き手を意識した発表の大切さを学んだという感想が聞かれた。日本人学生にとっては、留学生たちの短期間の学習で、人前で発表できるようになるということは、大変な驚きで、もっと自分も語学学習において積極的にならなければならないという決意を持ったという感想を述べていた。

④展示

留学生の好きな漢字をデザインした「漢字 T シャツ」、三田キャンパス 1 回生の留学生が制作した「4 コマ漫画」、交換学生の「お国自慢 (Homeland Pride)」、上ヶ原キャンパスで学ぶ学部 1 回生の「留学生の意識調査」、学部 2 回生の「日本人学生の意識調査」等を展示した。

漢字 T シャツの展示では、西宮市の「トライやる・ウィーク（中学生が 1 週間、地域社会に飛び出し、職場体験活動、勤労生産活動、ボランティア・福祉体験活動等、様々な活動を行う）」期間に、本学で職場体験活動を行っている中学生の協力も得て、展示物を作成した。

三田キャンパス 1 回生は 4 コマ漫画を使って、日本文化理解や発表の仕方を学ぶ授業を行っている。その活動の最後に制作した自作 4 コマ漫画を展示した。

お国自慢 (Homeland Pride) の展示では、来場者によるアンケートを実施し、1 位の交換学生には終了パーティーで表彰を行った。今年度の第 1 位に輝いたのは、「100 万ドルの夜景」を紹介した香港中文大学からの交換学生のお国自慢であった。

留学生の意識調査と日本人学生の意識調査は PC でグラフを作成する練習と、PPT のスライドのデザインの練習にもなるように計画されており、その後の各クラスでの発表の際に役立っている。

<留学生 Week の展示風景>



これまでの 5 回の実施で、発表の場を提供し、留学生間及び一般学生との交流を図るという目的はある程度達成した。しかし、一般学生との交流についてはまだまだ十分とは言えない。一般学生の参加をさらに促すことを今後の課題としたい。